

飴細工

実施日：平成31年2月25日～3月4日 於：スペイン（バルセロナ）、フランス（パリ、レンヌ）、英国（ロンドン）

■ 派遣専門家



手塚 新理

飴細工師

(浅草・飴細工アメシン代表)

20代前半より飴細工の修行を始め、職人としての頭角を早くから現し、2013年に東京浅草（2018年に花川戸へ移転）に体験工房「浅草・飴細工アメシン」をオープン。

2015年には東京スカイツリータウン・ソラマチに2号店を開いた。工房店舗では飴細工の実演、体験教室、オーダーメイド作品の製作等が行われている。後継者が少なくなる飴細工の伝統を保持すべく、精巧で斬新な飴細工を次々と創作しながら、後進の育成にも力を入れて取り組んでいる。

■ 事業概要

● バルセロナ



製菓学校でのワークショップ

● パリ、レンヌ



サンマルタン中等・高等学校での展示

● ロンドン



ジャパン・ハウス ロンドンでの講演



飴細工の作品展示



パリ日本文化会館での講演



ル・コルドン・ブルー料理学校でのワークショップ

■ 実施結果

飴細工職人の手塚さんが欧州を訪問し、飴細工の魅力を語り、実演を通じて匠の技を披露しました。バルセロナとロンドンでは、製菓や料理の専門学校にてワークショップを催し、参加者が自ら飴細工づくりに挑戦。飴細工作品を写真掲載したル・コルドン・ブルー校のインスタグラムでは「いいね！」が4千件を上回りました。また、ジャパン・ハウス ロンドンでの講演は、燕三条の金工技術をテーマとした企画展の直後の開催となり、満席の観衆を前に、技の実演とともに、日本のものづくりを巡る歴史や今日の課題、職人としての心構え等について講演しました。フランスでは「ジャポニズム2018」の公式企画として、パリとレンヌにて子供から大人まで幅広い層を対象に講演しました。レンヌのサンマルタン校からは、年内に予定している日本研修先に「アメシン」を加えたいとの声が同校関係者から聞かれました。